

■ 重要業績評価指標 (KPI) の達成状況 (令和5年度)

目標年度：総合戦略は令和7年度、まちづくりビジョンは令和12年度
第1次基本計画では目標値を定めていなかったため、目安として
上記を5年で割り戻して計算した

達成率：目標値を令和5年度時点に設定し難いものについては、
「5年間の評価」・「達成率」は、参考値として（ ）書きで
記載した

資料 1

<活動第1ステージ>

取り組み	具体的内容	北栄町まち・ひと・しごと創生総合戦略							備考	
		重要業績評価指標(KPI)	現状値(R1)	目標値(R5)	実績(R5)	累積(5年目)	取組内容・状況(R5)	5年間の評価		達成率
(1)企業の経営革新に向けた取り組み	■設備投資を行う企業に対する減免制度の周知及び支援	町内企業の経営革新に関する計画認定件数 (地域未来投資法等)	1社	5社/5年	2社／年	9社／5年	中小企業等経営強化法に係る先端設備導入計画の認定を行った。	達成	180%	まちづくりビジョン
		町内企業増設社数 (企業立地促進奨励金申込み件数)	4社/年	21社/5年	0社／年	15社／5年	企業立地及び雇用促進奨励金の支給により固定資産税額を支援した。	未達成	71%	総合戦略
					【5年間の評価・考察】 町内企業の経営革新に関する計画認定件数については、太陽光発電設置が多く達成率が大幅にアップした。 町内企業増設社数については、活用促進に努められるよう商工会を通じて制度の周知を行っていく。					
(2)企業訪問による各分野で抱える課題の把握	■企業訪問を実施し企業が抱える課題の集約及び周知	町内企業への訪問件数 ※町実施分	74社	200社/5年	32社／年	188社／5年	複業人材の活用を支援するため、商工会に同行し町内事業者への制度の案内を行った。必要に応じ、事業者、都市圏複業人材、商工会のミーティングに参加し事業者の抱える課題について把握に努めた。	未達成	94%	まちづくりビジョン
					【5年間の評価・考察】 コロナ禍で感染拡大防止に努め企業訪問を控えたため、未達成となった。今後とも商工会と連携して、町内事業者の抱える課題を把握していく。					
(3)観光客に魅力ある取り組み	■観光客の滞在時間を長くする仕掛けづくり ・観光客が「あと1箇所行ってみよう」という仕掛け ・休憩場所の検討 ・まち歩きマップ、看板による店舗の紹介 ■外国人観光客の受入体制の整備 ■民泊の取り組み ■観光客のニーズ調査	青山剛昌ふるさと館入館者数 (インバウンド受入数)	22万人/年 (2万人/年)	【R12 目標】 20万人/年 (3万人/年)	18万人 (1万3千人/年)	67万人/5年 (3万6千人/5年)	・人流がコロナ前に戻ってきており、入館者数は増加している。 ・混雑緩和のため入館制限を行ったかわりに、繁忙期以外の時期にイベントを打った。これにより繁忙期以外の時期にも入館が増えつつある。 ・海外団体の入館も増え、インバウンドも回復傾向にある。 ※達成率:5年間の累積をR12目標値(20万人/年×5年)で割った。	(遅れている)	(68%)	まちづくりビジョン
		町内主要観光施設入込客数	76万5千人/年	【R12 目標】 105万7千人/年	69万1千人／年	287万人/5年	・コロナ流行以前と比べて、客足は順調に回復している。 ・北条オートキャンプ場にBBQ棟を新設、道の駅大栄のレストランが再開するなど、今後観光客の増加が見込まれる。 ※達成率:5年間の累積をR12目標値×5年で割った。	(遅れている)	(54%)	総合戦略
		鳥取県中部圏域観光入込客数	176万1千人/年 (H30年)	【R12 目標】 250万人/年	161万2千人/年 (R4年)	769万2千人/5年	・鳥取中部観光推進機構が中心となり、インバウンド増加に注力。海外旅行会社の企画する中部エリアにおけるツアーを支援したり、韓国・香港・台湾にてプロモーションを行った。 ※達成率:5年間の累積をR12目標値×5年で割った。	(遅れている)	(62%)	総合戦略
		民泊事業者の増加	1事業者	【R12 目標】 3事業者	1事業者	2事業者	・北尾地区に、築60年の平屋をリノベーションした「guest house たなかそう」が令和5年9月19日に開業した。	(順調)	(67%)	まちづくりビジョン
					【5年間の評価・考察】 ・(～R3)新型コロナウイルス感染拡大の影響から入込客数は大幅に減少。(R4)コロナの規制緩和が行われ、コロナ禍の落ち込みから、客足が回復に転じてきた。(R5～)コロナが5類に移行したことにより米子ソウル便、米子香港便、台湾チャーター便が再開されインバウンド客の取り込みは回復傾向にある。ふるさと館の入館者はコロナ前の水準に戻りつつあり、町内への観光入込客数も順調に回復している。道の駅ほうじょうやふるさと館の再整備等を見据え、今後も継続してイベント、PRを強化し、一層の交流人口増加を図っていく。					
(4)米花商店街を地域の財産として活用する意識	■町内飲食店のマップ作成 ■スタンプラリーの実施									－
(5)地域内循環の拡大に向けた取り組みの推進	■地域内循環を推進する町の姿勢を内外にPRする取り組み ・公共調達の際は町内業者を優先して購入する ■地域に貢献する事業者の意識を高める取り組み	町内企業への公共事業等の受注割合 ※R4～町内事業者が受注できない業務は、集計から外して算出	64%	【R12 目標】 80%	90%	－	本町商工振興に資するため、公共調達の際の町内業者を優先して購入するなど受注機会の拡大に努めた。	(順調)	(113%)	まちづくりビジョン
(6)コーディネート機関の活用	■連絡・相談・連携がしやすい体制づくりの実施	北栄町商工会加入者数	377社	【R12 目標】 380社	410社	-	商工会と連携し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けた町内事業者の事業継続に向けた支援を行った。	(順調)	(107%)	総合戦略
					【5年間の評価・考察】 ・町の方針として、町内事業所を入札参加者に指名し、入札を行っている。 ・北栄町商工会組織率は、70.5%であり、中部でも加入率は高い。(R6.3.31現在)引き続き相談窓口の周知に努める。					
(7)学校での取り組み	■職場体験を通し地場産業、地元商品への意識形成 ■企業ガイドブックを学校の図書館に設置してもらい地元企業を身近に感じる機会を作る	高校卒業後、地元を離れたが将来は地元に戻って就職したいと思う人の割合※成人式アンケート	51%	【R12 目標】 55%	51.3%	－	(希望する29.06%、どちらかというと希望する22.22%) ・「地域探究の時間」における地域の魅力の発掘、課題解決を図る人材育成。 ・ボランティア体験により地元の理解を深め、社会性を学んでいる。 ※0.36%/年増加でR12に目標値達成となるため、R5時点は遅れていると評価。(52.44%の場合、順調と判断)	(遅れている)	(93%)	総合戦略
					【5年間の評価・考察】 ・地域探究を通じて学年が上がるとともに地元に対する意識が上がってきている。引き続き取り組みを進める。 (R6中央育英高校にアンケート調査を実施。)					

